



【令和8年第1回臨時会】

物価高騰支援金19歳以上一人5000円など

一般会計補正予算を可決

2月4日、令和8年度第1回臨時会が開かれ、承認第1号令和7年度補正予算（第8号）（専決された衆議院選挙分）の承認、議案第1号令和7年度補正予算（第9号）（物価高騰対策分）は議員全員の賛成で可決されました。

物価高騰支援金

給付は4月から

対象者は、令和8年1月1日現在で愛西市に在住する、平成19年4月1日以前に出生の19歳以上の市民に、ひとりあたり5000円を支給します。

給付は個人に対して行われ、市から振込口座を申請する案内が送付され返信します。口座が確認出来次第、5000円が振り込まれます。

ウェブサイトからも申し込みできるようになります。

マイナンバーカードに口座が紐づけられている方にも、確認の案内が送付されます。

4月下旬に第1回目の給付が行われます。

受取口座がないなど、相談のための窓口やコールセンターも設置されます。

国の臨時交付金残1億5千万円
使い道は今後検討

国から愛西市に交付される物価高騰対応重点支援地方創生交付金の上限は6億2446万4000円です。

12月議会と今回の臨時会で決まった支援策を除いた残りは約1億5千万円あります。

河合かつべい議員が、この使途をたずねましたが、今後検討するとの答弁でした。
市民の暮らしに即した支援が求められます。

【これまでに決まった支援策】

- 水道料基本料金の減免
令和8年2月3月分
- 小中学校給食費の無償化
令和8年1月から3月分
- 保育園給食費の無償化
令和8年1月から3月
- 市民一人当たり5000円の支援金
令和8年1月から3月
- 民間保育園・認定こども園への給食費補助
令和8年3月まで

日本共産党演説会

市独自のサービス上乗せは廃止・削減。

防災コミュニティセンターな

どの公共施設の廃止。市民にとって安心して暮らせる環境がどんどんくずれていきます。その一方で、道の駅の負担はそのまま。

愛西市の現状をお話し、今後の市のあり方を考えましょう。



愛西市議会 パワハラ研修を開催

2月4日、愛西市議会のハラスメント研修会が行われました。

昨年に続き、第2回目の開催で、講師は、服部ひかり弁護士（ひかりの法律事務所）をむかえ、今回は、市職員に対する議員のハラスメントについて研修しました。

議員は、市職員に対して職務に関する優越的な関係があり、それは個々の意識の問題ではなく、制度上の問題として捉える必要があるなど、ハラスメントが起こりうることを説明し、具体的な事例を示して講義されました。

